

日本分光学会関西支部 2021 年度 第 2 回幹事会 議事録(案)

日時: 2022 年 3 月 2 日(水) 13 時

会場: オンライン開催(ZOOM)

出席幹事(14 名)

長谷川健(支部長)、佐藤春実、坪内雅明、森澤勇介、村木直樹、右近寿一郎、草場光博、下赤卓史、中庸行、畠堀貴秀、細川千絵、水谷泰久、吉越章隆、笠原俊二(敬称略)

議題

1. 新幹事紹介(堀場製作所 中庸行 様) 笠原幹事
 - ・堀場製作所の中庸行さまよりご挨拶いただいた。
2. 報告・承認事項
 - a. 前回議事録確認(幹事会資料 1) 笠原幹事
 - ・議事録の修正が 1 件あり(光学四学会報告の参加登録者人数を(有料) 49 名から、有料 29 名含む全体 49 名に修正)
 - b. 分光学会理事会報告 長谷川支部長
 - ・退会者がやや多い(理由不明)
 - ・支部からの事業報告書の提出のお願い
 - ・学会の赤字と幹事会等の旅費について質問があり、支部長より、学会の赤字についてはすでに解消されたこと、旅費については今後改善していく予定である旨の説明があった。
 - c. 2021(令和 3)年度事業報告および決算報告(幹事会資料 2) 笠原・坪内幹事
 - ・加えて森澤先生より光学四学会についてご説明があった。
 - d. 2022(令和 4)年度事業計画および決算報告(幹事会資料 3) 笠原・坪内幹事

以下について説明があり承認された

 - ・講演会の回数について: コロナ前と同様に 3 回程度とする。コロナの影響で予定が立てにくい、取り急ぎ、コロナ前の案としておく。
 - ・講演会の形式について(オンライン or ハイブリッド): コロナの状況を見ながら判断する。
 - ・年度最後の行事(幹事会と総会)は分光学会への年度末資料の提出(3 月初旬)の前に実施する必要があるため 2 月下旬~3 月初旬: 3 月は予定が多いので 2 月の方がいいのかもしれない。今後検討する。
 - e. 2023 年度日本分光学会年次大会について
笠原先生より、2023 年度は関西が担当、時期と場所は 2023 年度(10 月)神戸の予定との説明があった。

f. 2022(令和4)年度支部長・幹事・役員について

- ・笠原先生より市村先生（大阪大）が馬越先生にご交代とのご報告があった。
- ・笠原庶務幹事から交代する新庶務幹事が未定のため、近日中に依頼することになった。

3. その他

幹事の人数が規約による会員数の10%程度を目安とすると、現状ではやや幹事が多いため、幹事の人数を例えば23名から20名程度に調整してもいいのかもしれない。ただ、会員数に依存するため、今後検討する。

以上